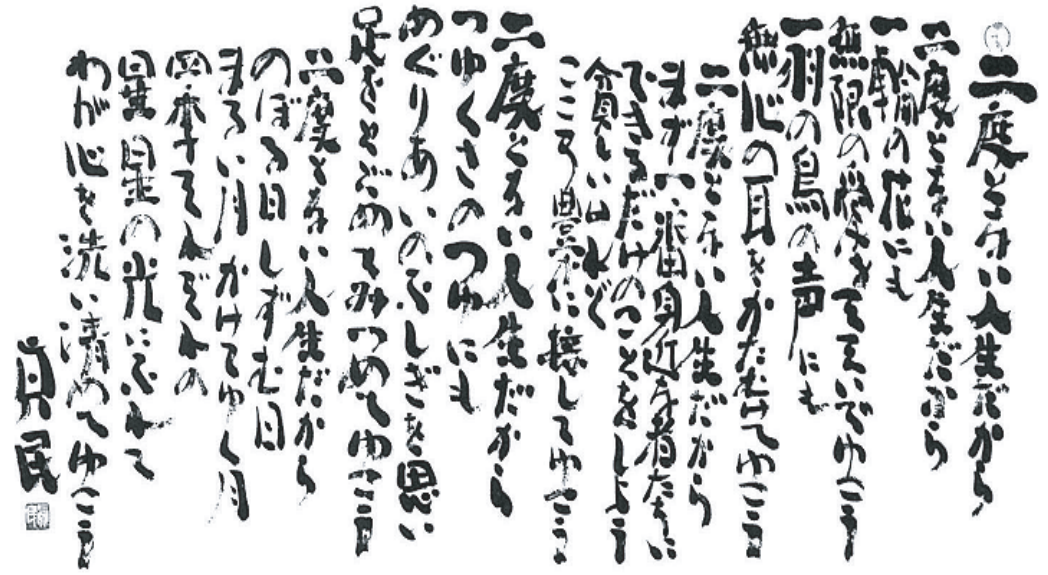
笑う門には福来る。

松山市勝山町1-18-10
(株)日本交通社
TEL(089)946-3911
発行人：中村剛志



坂村真民記念館（砥部町）

明朗・愛和・喜働

何も恥ずかしいことはない

昨年、芸能生活五十周年を迎えた漫才師の西川きよしさん。小学生の時に、担任の先生からかけられた言葉が、今も心に残っているといいます。

「家が貧しい」というだけで、いじめにあっていた西川さんは、弁当の時間が苦痛でした。真っ黒な麦飯に、おかずは、味噌汁の出汁をとった煮干しの煮付けだけ。恥ずかしくて、机の下に隠すように食べていました。

ある時、担任から「お母さんが一生懸命作ったのに、何が恥ずかしいの。堂々としなさい」と一喝されたのです。その言葉を機に、〈ちゃんと食べているだろうか〉と自分を心配する母のことが気にかかり、堂々と弁当を食べるようになりました。からかいの声も気にならなくなったそうです。

後に、漫才師や国会議員として活動するようになった西川さんは、わからないことは隠さず、堂々と聞くことをモットーにしています。

私たちも、初めてのことに臆した時、自分をさらけ出すような気持ちで、相手の懐に飛び込んでみましょう。聞くことは恥ずかしいことではありません。

●わからないことは尋ねましょう

「職場の教養」より

良悟さんの四季暦

残されし父の枝垂れの若葉なる

母の日や初めて渋きモカ・マタリ

熊本良悟さんは、砥部町在住の友人で俳句甲子園開設時からの選者です。

八木健さんの川柳アート

家系図はないが犬には血統書　八木健

宇和ちゃんの啖呵＝短歌

蕾よし咲くよし散るよし筏よし
薫風のなか今は葉桜

こんなにも待たせてたった一輛の
ローカル線が踏み切り過ぎる

道しるべ

苦労しただけ力が身に付く

楽をして覚えたことや容易にできたことは忘れやすいものです。
失敗を重ねて身に付けた力は本物です。